

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	: 苛性ソーダ（パール状）
会社名	: 共立製薬株式会社
住所	: 〒102-0074 東京都千代田区九段南 1-6-5
担当部門	: 品質保証部
電話番号	: 03-3264-7196
メールアドレス	: hinshitsu@kyoritsuseiyaku.com
想定される用途及び当該用途における使用上の注意	: pH 調整専用

2. 危険有害性の要約

GHS 分類	
物理化学的危険性	
引火性個体	: 区分に該当しない
自然発火性個体	: 区分に該当しない
健康に対する有害性	
急性毒性（経口）	: 分類できない
急性毒性（経皮）	: 分類できない
急性毒性（吸入：蒸気・粉じん）	: 分類できない
皮膚腐食性／刺激性	: 区分 1
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	: 区分 1
呼吸器感作性	: 分類できない
皮膚感作性	: 区分に該当しない
生殖細胞変異原性	: 区分に該当しない
発がん性	: 分類できない
生殖毒性	: 分類できない
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	: 区分 1（呼吸器）
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	: 分類できない
誤えん有害性	: 分類できない
環境に対する有害性	
水生環境有害性 短期（急性）	: 区分 3
水生環境有害性 長期（慢性）	: 区分に該当しない
オゾン層への有害性	: 分類できない
絵表示又はシンボル	



注意喚起語	: 危険
-------	------

危険有害性情報	<ul style="list-style-type: none"> : 重篤な皮膚の薬傷および眼の損傷 : 臓器の障害（呼吸器系） : 水生生物に有害
安全対策	<ul style="list-style-type: none"> : 取扱い後は手をよく洗うこと。 : 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。 : 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレートの吸入をしないこと。 : 製品を使用する時は飲食又は喫煙をしないこと。 : 環境への放出を避けること。
応急処置	<ul style="list-style-type: none"> : 飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。 : 皮膚に付着した場合：直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。すぐに水で数分間洗うこと。汚染した衣類を再使用する場合には洗濯すること。 : 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。すぐに、救急の医療処置を受けること。 : 眼に入った場合：すぐに水で数分間洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。目の刺激が続く場合は、医療処置を受けること。 : ばく露またはその懸念がある場合は、すぐに救急の医療処置を受けること。
保管	: 施錠して保管すること。
廃棄	: 内容物、容器を国または都道府県・市町村条例などの規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 : 単一製品

成分名	含有率	CAS RN	化管法	安衛法	皮膚等障害 化学物質等	毒劇法
水酸化 ナトリウム	95%以上	1310-73-2	非該当	該当	該当	劇物

4. 応急措置

吸入した場合	: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。必要に応じて医師の手当てを受ける。
皮膚に付着した場合	: 直ちに石けんで洗い落とし、多量の水で洗い流す。 必要に応じて医師の手当てを受ける。
眼に入った場合	: 水で数分間注意深く洗う。コンタクトレンズを着用の場合、容易に外せる場合は外し、洗浄する。必要に応じて医師の手当てを受ける。
飲み込んだ場合	: 直ちに水で口の中を洗浄する。必要に応じて医師の手当てを受ける。

5. 火災時の措置

消火方法	: 周辺火災の場合、周辺の設備などに散水して冷却し、移動可能な容器は速やかに安全な場所に移動する。消火活動は風上から行う。
適切な消火剤	: 水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類
使ってはならない消火剤	: 棒状放水
特有の危険有害性	: 不燃性であり、それ自身は燃えないが、加熱されると分解して、腐食性及び毒性の煙霧を発生するおそれがある。 : 火災時に刺激性、腐食性及び毒性のガスを発生するおそれがある。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項 保護具及び緊急時措置	: 作業の際は適切な保護具を着用し、飛散したものが、皮膚に付着したりしないようにする。
環境に対する注意事項	: 流出した製品が河川などに排出され、環境へ影響を起ささないように注意する。大量の水で希釈する場合は、汚染された排水が適切に処理されずに環境へ流出しないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	: 少量の場合には、乾燥砂、土、おがくず、ウエス等によりできるだけ密閉できる空容器に回収する。 : 本製品は強アルカリなので、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから処理する。必要であれば、希塩酸、希硫酸などで中和する。 : 処理後の土砂などについては、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託する。
二次災害の防止策	: 当該物質又は当該物質の水溶液の排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への混入を防ぐ : プラスチックシートで覆いをし、散乱を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い上の注意事項

技術的対策 : 皮膚に付いたりしないように適切な保護具を着用する。

注意事項 : 粉じん、ヒューム、蒸気、スプレーを吸入しない。
: 取扱い後はよく手を洗う。
: この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしない。
: 皮膚と接触しない。
: 眼に入れない。

保管上の注意事項

保管条件 : 容器を密閉して冷乾所にて保存する。
: 強酸から離しておく。
: 金属類から離しておく。
: アンモニウム塩から離しておく。
: 施錠して保管する

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策 : 作業場には全体換気装置、局所排気装置を設置すること。

管理濃度 : 未設定

許容濃度 : 日本産衛学会
2mg/m³（最大許容濃度）（2009年版）
: ACGIH
STEL (C) 2mg/m³（2009年版）

保護具

呼吸器の保護具 : 保護マスクを着用する。
手の保護具 : 保護手袋を着用する。
眼の保護具 : 保護眼鏡を着用する。必要に応じてゴーグル型又は保護面等を着用する。
皮膚及び身体の保護具 : 適切な保護衣を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

外観 : 白色の固体

臭い : 無臭

pH : pH 12 (0.05% w/w)
pH 13 (0.5% w/w)
pH 14 (5% w/w) Merck (14th, 2006)

10. 安定性及び反応性

化学的安定性	: 通常の取扱いでは安定である。
危険有害反応性の可能性	: 強塩基であり、酸と激しく反応し、湿った空気中で亜鉛、アルミニウム、スズ、鉛などの金属に対して腐食性を示し、引火性/爆発性気体（水素）を生成する。 : アンモニウム塩と反応してアンモニアを生成し、火災の危険をもたらす。 : ある種のプラスチック、ゴム、被膜剤を侵す。 : 空気から二酸化炭素と水を急速に吸収する。 : 湿気や水に接触すると、熱を発生する。
避けるべき条件	: 湿った空気中での亜鉛、アルミニウム、スズ、鉛などの金属との接触、ある種のプラスチック、ゴム、被膜剤との接触、空気との接触による二酸化炭素と水の吸収、湿気や水との接触
混触危険物質	: 酸、湿った空気、亜鉛・アルミニウム・スズ・鉛などの金属、ある種のプラスチック・ゴム・被膜剤、アンモニウム塩、空気、湿気や水
危険有害な分解生成物	: 引火性・爆発性気体（水素）、アンモニア

11. 有害性情報

急性毒性（経口）	: 本製品は、「政府による GHS 分類結果（2009）」より区分に分類できないとした。
急性毒性（経皮）	: 本製品は、「政府による GHS 分類結果（2009）」より区分に分類できないとした。
急性毒性（吸入：蒸気・粉じん）	: 本製品は、「政府による GHS 分類結果（2009）」より区分に分類できないとした。
皮膚腐食性／皮膚刺激性	: 本製品は、「政府による GHS 分類結果（2009）」より区分 1 とした。
眼に対する重篤な損傷／眼刺激性	: 本製品は、「政府による GHS 分類結果（2009）」より区分 1 とした。
呼吸器感作性	: 本製品は、「政府による GHS 分類結果（2009）」より区分に分類できないとした。
皮膚感作性	: 本製品は、「政府による GHS 分類結果（2009）」より区分に該当しないとした。
生殖細胞変異原性	: 本製品は、「政府による GHS 分類結果（2009）」より区分に該当しないとした。
発がん性	: 本製品は、「政府による GHS 分類結果（2009）」より区分に分類できないとした。
生殖毒性	: 本製品は、「政府による GHS 分類結果（2009）」より区分に分類できないとした。
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	: 本製品は、「政府による GHS 分類結果（2009）」より区分 1（呼吸器）とした。

特定標的臓器毒性（反復ばく露）	：本製品は、「政府による GHS 分類結果（2009）」より区分に分類できないとした。
誤えん有害性	：本製品は、「政府による GHS 分類結果（2009）」より区分に分類できないとした。

12. 環境影響情報

水生環境有害性 短期（急性）	：本製品は、「政府による GHS 分類結果（2009）」より区分 3 とした。
水生環境有害性 長期（慢性）	：本製品は、「政府による GHS 分類結果（2009）」より区分に該当しないとした。
オゾン層への有害性	：本製品は、「政府による GHS 分類結果（2009）」より区分に分類できないとした。

13. 廃棄上の注意

廃棄する場合には、都道府県又は市町村条例等に従い処分すること。

14. 輸送上の注意

国連番号	：1823
品名	：水酸化ナトリウム（固体）
国連分類	：クラス 8 腐食性物質
容器等級	：II

容器が転倒、落下、破損しないように充分注意するとともに、輸送前に破損や漏出がないことを確認する。

15. 適用法令

医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律	：対象外
化学物質排出把握管理法	：非該当
労働安全衛生法	：名称等を表示・通知すべき危険物及び有害物 ：リスクアセスメント対象物（法第 57 条の 3） 水酸化ナトリウム 別表第 9 の 319
毒物及び劇物取締法	：劇物 法律番号 　：別表第 2 の 54 法律名称 　：水酸化ナトリウム
消防法	：非該当

16. その他の情報

【引用文献】

- ・ 自社データ
- ・ 安全衛生情報、GHS 対応 モデル SDS 情報
- ・ (独) 製品評価技術基盤機構 (NITE) GHS 分類結果
- ・ (独) 製品評価技術基盤機構 (NITE) 化学物質総合情報提供システム